

北区立浮間中学校

学校だより

令和6年12月12日

第8号(12月号)

文責

校長 奥村 宏

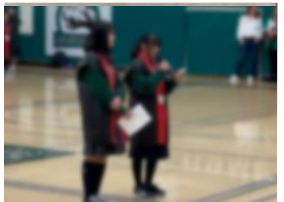
校訓 真善美 ～人間としてあるべき理想の姿～

◆北区立学校海外交流事業 11月12日(火)～11月22日(金)

北区では、昭和63年度から北区立学校生徒海外交流事業を実施しています。これまで、北区立学校の先輩にあたる600名以上の生徒たちがこの事業に参加し、多くの成果を得て各方面で活躍しています。

この交流事業は、平成11年度から交流先がアメリカ合衆国カリフォルニア州ウォルナットクリーク市(サンフランシスコの近くです)になり、今年度は25周年の記念交流の年に当たります。体験入学先はセブンヒルズスクール(以下、S.H.S)という私立学校で、2月には北区の家庭がS.H.Sの生徒たちの受入を行い、北区立学校を訪問します。この交流事業が、今後も北区にとって、浮間中学校にとって有意義な事業となることを期待しています。

北区立学校海外交流事業派遣報告

【出発】 滝野川分庁舎での出発式を終えて、希望に満ちた表情で成田空港から出発しました。往路は約9時間のフライトでした。	
【1日目】 サンフランシスコ空港到着後の市内視察では、ツインピークスやフィッシャーマンズワープなどを巡りました。	
【2日目】 いよいよホストファミリーと対面。ものすごい歓迎ぶりに驚かされました。	
【3日目】 盛大な歓迎会が催されて、S.H.Sでの学校生活がスタート。ホストフレンドが教室移動やランチ等、学校生活のちょっとした不安もフォローしてくれました。	
【4日目～】 ホストファミリーとの生活の中で、日本との文化の違いを実感しました。また、各グループが日本の文化にまつわる授業を展開し、S.H.Sの生徒たちも興味津々でした。	
【8日目】 S.H.Sで過ごす最後の日。全校でのお別れ会やホストファミリーとお別れ会では多くの笑顔と涙が溢れました。	
【9日目】 帰国する朝は6:15集合。早朝にも関わらず、ホストファミリーが温かく見送ってくれました。素敵な時間を過ごしたことを実感する場面でした。	
【帰国】 羽田空港から高速道路の渋滞を経て滝野川分庁舎に到着。到着が遅くなっても関わらず、多くの方々に見守られた帰国式となりました。	

派遣生徒は全7回の事前研修に取り組みました。
今後、4回の事後研修を経て、
令和7年3月1日(土)に成果報告会を行う予定です。



◆1 年対話集会 11月28日（木）

「社会を明るくする運動」の一環として、非行防止について考える会を行いました。講師は、赤羽警察署の職員の方です。講師からは「自分のことと置きかえて話を聞いてほしい」との言葉がありました。今回は「闇バイト」についてです。受け子等は10代が多く中学校3年生も捕まっています。また、ニュースには出ませんが、刑事罰の他に民事で損害賠償を請求されるそうです。未成年が捕まればその保護者にも迷惑をかける行為です。また、少年院に入った受刑者のインタビュー動画を見ました。「このくらいなら大丈夫、バレなければいいと思っていた。しかし、今は後悔している」さらに、「指示役の顔を知ることができない。紹介者の中には不良交友の先輩や暴力団に関わる人もいる。少年院を出た後、地元に戻るのが怖い」とのことでした。

中学生からよく聞く言葉に、「このくらいならば・・・」という言葉があります。経験をする事で覚えることも多くはありますが、経験しなくてもよいこともあります。あやしいと思ったらまずは身近な大人に相談してほしいです。



◆2 年防災学校 11月29日（金）

毎年開催している防災学校です。災害時に地域の貴重な担い手となれるように防災に関する知識と技術を習得します。指導種目は①心肺蘇生法②ロープワーク③地震体験④初期消火です。全員が4種類すべての体験を行います。この体験から防災意識を高めてほしいです。



震度7の体験



心肺蘇生はコツが必要です



消火器は狙いを定めて

◆6 組中学校スポーツ交流大会 12月5日（木） 滝野川体育館

保健体育の授業で十分練習をした成果が発揮されました。3チームが出場し、3チームすべてで、目標としていた1勝をすることができました。今回の大会では、各学校のレベルが高くなり、とても試合が盛り上がっていました。来年は2勝を目標としましょう。



◆「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール

昨年度実施した「命の大切さを学ぶ教室」では、交通事故で小学生の子供を亡くしたお母様のお話を聞き、命の大切さについて作文を書きました。その中から3名の生徒が表彰されました。

国務大臣・国家公安委員会委員長賞	□年□組	□□	□□	さん
警察庁犯罪被害者等施策推進課長賞	○年○組	○○	○○	さん
	○年○組	○○	○○	さん

□□□□さんの作文は、全国12,490点の作品の中で最高賞となりました。

◆編集後悔

- ・作文コンクールに応募すると、賞をいただく生徒が多くなってきました。1月号もお楽しみに。
- ・寒い日が続いています。3年生は健康に気を付けて生活してください。応援しています。